

『春の夜の夢』

春の夜、月明かりの下、小川のせせらぎを聞きながら、ふと思い出す。子供の頃、花見で走り回ったこと。桜の花びらが舞い落ちる中、笑い声と歓声が響いていた。それは、まるで夢のようだった。

科学の進歩は目覚ましい。人工知能とロボット技術が日常生活に溶け込んでいる。未来は、いつも私たちの想像を超えてくる。しかし、春の夜の静けさは、時代を超えて変わらない。

日々の会話：

A：「今日の晩ごはんは何がいい？」

B：「うーん、ラーメンが食べたいな。」

A：「ラーメンね、いいね！どこの店にしよう？」

B：「昔からあるあの店、どう？いつも行列だけど。」